

[ライブ・サーティ]

# Live30

<http://www.omichikai.or.jp>

VOL.

## 214

2016年  
1月-2月



(表紙写真はさる年生まれの職員)

### TOP MESSAGE

ごあいさつ 大道道大 (社会医療法人 大道会 理事長)

### CLOSE UP

「2025年大阪の医療提供体制への提言」をテーマに開催

## 第18回大阪病院学会

### OMICHI SCRAMBLE

昇進者研修を開催

循環器内科ライブを開催

ベトナムから理学療法士が見学訪問

### INFORMATION

大道会の各病院・施設のホームページをリニューアル

大阪市城東区・UR都市機構と森之宮地域のまちづくり協定を締結



最優秀賞  
「Live30」  
雑誌「Live30」の発行により、  
最も優秀な医療情報誌として、  
日本医療情報学会から  
賞状を授けられました。

ごあいさつ

## 2018年を見据えた 組織づくりを始める年に

社会医療法人 大道会 理事長  
森之宮病院 院長  
大道 道大



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、私が学会長を務めさせて頂きました第18回大阪病院学会が開催されました。今回の学会テーマは昨年からは開始した地域医療構想策定を踏まえ、「2025年大阪の医療提供体制への提言」としました。309題もの演題数がある中、大道会からは47名が演題発表者として参加し、そのうち11名が優秀演題に選ばれました。当日は例年よりも多い約1900人の参加者が集い、大変熱気のある学会となりました。

一方、ヘルスケア分野の動向に注目しますと、2025年をピークに日本の後期高齢者の人口が急激に増加する、いわゆる2025年問題が危惧されています。中でも大阪は後期高齢者の増加率が高く、10～15年の間で高齢者が約70万人増える予想で、これは全国で1～2位を争う勢いと言われています。この2025年問題に向けて始まった政策のひとつが地域医療構想です。この地域医療構想で考慮すべき点は、実際の医療を4つの病床機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)だけで分けることは難しく、外来の将来的な需要も想定する必要があるということです。また、高齢者の急増により大阪が「東京化」し、大阪の医療機関だけでは支えきれないために、高齢者が近隣の県へ転居した場合の人口の変動も視野に入れなければなりません。

また、もうひとつ推し進められている地域包括ケアシステムでは、最期をどう迎えるかという議論がまだまだ不足しているように感じます。最期を病院や施設で迎えたいのか、あるいは在宅で迎えたいのか、その人が望み、周りの

人が祝福する終末を国民ひとりひとりが考えていく必要があるでしょう。

今年、2013年から再構築を進めてきた新たな人事制度がいよいよ本格施行されます。「人事制度」という言葉だけを聞くと少し冷たく聞こえますが、組織の根幹のひとつでもある人事制度は本来職員のモチベーションアップのためにあるべきものだと考えます。「Hope & Growth未来に向かって成長し続けよう!!」をキャッチフレーズに、頑張った人が報われる、また、頑張れなかった人に次は頑張れと言える制度を目指して導入を進めていきたいと考えています。

今から2年後の2018年には、診療報酬・介護報酬の同時改定があり、前述の政策も含め、社会保障のあらゆる根幹が決まります。この医療が大きく変わる2018年に向けて、ただその時が来るのを受け身で待つのではなく、どのような準備をしていくかで将来の大道会が決まると言っても過言ではありません。この準備期間を有効に活用し、職員の皆さんには全体の日本の流れを俯瞰する視点を持ちながら、積極的な情報収集に努めてほしいと思います。そして、私達が大切にしてきた「私達が提供できる医療・福祉」、「私達が挑戦したい医療・福祉」、「患者さん・ご利用者から求められている医療・福祉」の3つの視点が重なり合うところを軸に、変化を恐れず、職員の皆さんで職種の垣根を越えて知恵を出し合いながら、私達にしかできない医療・福祉に挑戦していきたいと思っています。

# 第18回大阪病院学会

平成27年11月、グランキューブ大阪(大阪国際会議場)にて「第18回大阪病院学会」が開催されました。同学会の概要や大道会職員の演題発表についてご紹介します。

## 多数のシンポジウムや特別講演 300名を超える演題発表

11月15日、昨年から始まった地域医療構想策定を踏まえ、「2025年大阪の医療提供体制への提言」をテーマに、第18回大阪病院学会が開催されました。同学会は、大阪府病院協会と大阪府私立病院協会の会員病院の協力を得て2年に1回開催され、今回は大道道理事長が学会長を務めました。専門職が所属する学会での発表の登竜門とも言え、大阪の医療・福祉関係者が職種を問わず一堂に会します。今回は当日参加が多く、約1900人が集まりました。大道会からも演者や座長、運営スタッフとして、多くの職員が参加しました。

大道理事長が開会の挨拶をし、その後、「地域包括ケアシステムのあるべき姿」をテーマにシンポジウムが行われました。午後的一般演題発表では3時間で309題もの発表が行われ、大道会からは47題の演題を発表しました。大道会からは、若手から管理職まで、看護師、セラピスト、放射線技師、事務職等、あらゆる職種から参加しました。特別講演では、よしもとクリエイティブ・エージェンシーの間寛平氏が「アイスマラソンの裏側すべて話します!」と題した講演を行い、得意の話術で会場を盛り上げました。最後に、優秀演題発表式で

は55名が優秀演題に選ばれる中、大道会からは11名が選ばれ、喜ばしい結果となりました。同学会で学んだことや発表で得られた経験を生かし、これからは臨床と学術の両方の分野で力を入れていきたいと思えます。



間寛平氏による特別講演が行われました

## 優秀演題に選ばれた11名を紹介



森之宮病院看護部  
4階西病棟  
向井史果

## 介護福祉士による 回リハ病棟「院内デイ」の取り組み

常時見守りや所在確認が必要な患者さんのリハビリ以外の過ごし方が課題でした。解決する為に余暇活動、機能改善、社会的交流の場を目的に「院内デイ」を開設、週2回レクリエーションを実施しました。効果として日中の活動性が上がり、離床時間も増し、他の患者さんと交流することで協働性が増し、表情も豊かになったと考えられます。今後は、スタッフの確保、個々に合ったレクリエーションの充実が課題です。



森之宮病院診療技術部  
栄養サービス科  
塩塚洋子

## NST活動普及に向けての取り組み

職員への栄養管理の重要性や知識普及の為に取り組みを行いました。リンクナースを設定し、NST(Nutrition Support Team)栄養サポートチーム)カンファレンスへの参加と低栄養患者さんの抽出を依頼。また、院内勉強会やNST通信の発行を行いました。その結果、NSTの活動を知ってもらえる機会が増え、病院全体の栄養管理に対する意識が高まりました。今後は、勉強会やNST通信の内容充実を図り、スタッフ間の栄養知識の差を埋めていきたいです。



森之宮病院看護部  
5階東病棟  
阪上良

## 森之宮病院における 介護福祉士の役割と課題

回復期病棟における介護士の業務内容向上と今後の課題を明確にすることを目的に、介護士16名にアンケートを実施しました。アンケート結果から介護士は患者さんの在宅・社会復帰を意識したケアに取り組み、担当患者さんに責任感を持ち関わっていることが分かりました。今後は多職種連携と介護士独自の専門性をチームケアに取り入れることが課題です。

例年よりも多い参加者数となる約1900人が会場を訪れました

学会長の大道道理事長による開会の挨拶





森之宮病院歯科診療部  
山内綾子

## 口腔癌に対する放射線治療用 マウスピースの作成

放射線治療用マウスピースは、口腔癌に対して放射線を照射する際に被爆を最小限に抑えることができ、放射線治療を行う上で有効です。当院では他院から依頼を受け、マウスピースを作成しています。今回はマウスピースを作成し、放射線照射が有効に実施された症例を例示しました。今後も他院と連携して、よりニーズに合った技術物を作成できるように努力していきたいです。



森之宮病院事務部主任  
下里 忠光

## 課題解決能力強化プロジェクト 法人内トレーナーとしての取り組み

課題解決能力を組織で育成することを目的に、課題解決に関する知識を習得した職員10名がトレーナーとなり、管理職147名を対象に研修を行いました。トレーナー同士で話し合いテキストを作成し、講義とグループワークを行いました。その結果、受講者の課題解決思考が深まるとともに、職種間交流が促進されました。今後は、新しく管理職になる職員への教育や新たなトレーナーの育成が課題です。



ボバース記念病院  
看護部在宅ケア科  
山中由美

## 小腸ストーマ保有者の ストーマケアに難渋した一例 施設看護師とABCDDStomaの 使用を試みて

ストーマ周囲のびらんを繰り返す患者さんの皮膚トラブル改善を目的に、訪問看護師と施設看護師のパウチ交換に着眼しました。「ABCDDStoma」での的確な観察、評価と「パウチ交換手順書」での手技の均質化で看護診断が整理され、手技統一が確実に皮膚トラブルは軽減、患者さん、ご家族のQOL向上につながりました。



ボバース記念病院  
リハビリテーション部  
理学療法科主任  
竹中幸治

## 訪問看護ステーションにおける 訪問リハビリ終了者の検討 カルテ・アンケートから振り返る

訪問リハビリを終了した11名のカルテと担当セラピストへのアンケートから目標設定や取り組み等を振り返りました。目標設定は、利用者の不安や取り巻く環境を十分に評価し、活動や参加を意識した具体的なものにする必要がありました。また、早期より社会参加、終了後を意識した取り組みや、日頃からケアマネジャーを中心に他機関との連携が重要でした。



森之宮クリニック  
診療技術部  
池田綾野

## 性能・特徴の異なるPET/CT 3機種の運用

当施設はTOF補正機能搭載のPET/CT機を導入したことにより性能、特徴の異なる3機種で運用しています。各機種の特徴を生かしつつ画質や検査時間等受診者にとつての負担の差を無くすことをめざし検査を行ってきました。検証の結果、機種間の画質差は許容範囲内であり、機種間の振り分けは概ね決められた通り行われていました。



帝国ホテルクリニック  
検診技術部生理検査科科长  
島田恭子

## 当施設における頸動脈内膜中膜 複合体厚と動脈硬化リスク ファクターの検討

生活指導に生かすことを目的に、頸動脈超音波検査「内膜中膜複合体厚（IMT）」3点計測の平均値（meanIMT）と高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、運動、睡眠、年齢についての関連を検討しました。結果は、動脈硬化は経時的に進行するためmeanIMTは正常域の1.1mm以下であっても、年齢別のmeanIMTを念頭に置いた指導が必要と考えられました。



介護老人保健施設  
グリーンライフ  
療養サービス部長  
瀧口晃史

## 「認知症ケアを正しく知る」 大道会全体の取り組みとなった 5年間の軌跡

「認知症を正しく知ろう」という目的で始まった勉強会が法人全体の取り組みへ発展しました。その過程で「認知症のケアには、知識と技術が必要」という事が分かり、知識を学ぶ勉強会と技術を検討する技術講習を合わせた「認知症実地研修」へと変更しました。多職種が「認知症」という病気と向き合う場として今後も継続して実施したいです。



在宅事業部  
訪問看護ステーション  
東成おおみち事業所長  
竹島祐代

## その看取り、在宅では無理だと 思っていませんか？

課題が多くても在宅看取りできた事例を振り返り、訪問看護師の役割を検討しました。その結果、在宅看取りを決定つけた内容は、時間制限なく側に居たい、最後まで馴染みの看護師に看してほしい、家で何ができるか分かり安心、緊急対応が安心、病院での治療は望まない、今後の経過が明確でした。これらを訪問看護師の介入で満たし他職種と密に連携すれば、課題が多い症例でも在宅看取りが可能だと考えます。

## 第18回 大阪病院学会 大道会発表者 演題一覧 (47名)

氏名	所属	演題
森下 摩耶	森之宮病院 看護部(看護師)	術後患者に疼痛スケールを導入し患者主体の疼痛緩和を目指した事への検討
島村 綾	森之宮病院 看護部(看護師)	心臓血管外科手術における、災害マニュアル作成シミュレーションを実施して
西口 真央	森之宮病院 看護部(看護師)	小児リハビリ病棟母子入院における看護師の役割 ～退院後の生活を見据えた支援～
向井 史果	森之宮病院 看護部(介護福祉士)	介護福祉士による回リハ病棟「院内デイ」の取り組み
畑 佳乃代	森之宮病院 看護部(看護師)	申し送り短縮を試みて
阪上 良	森之宮病院 看護部(介護福祉士)	森之宮病院における介護福祉士の役割と課題
白井 優紀	森之宮病院 看護部(看護師)	口腔ケアの勉強会・アンケートを用いた看護師の意識変化
吉田 ひろみ(科長)	森之宮病院 看護部(看護師)	医療相談室との連携で院内感染防止につなげる
山本 裕子(主任)	森之宮病院 リハビリテーション部(PT)	急変初期対応シミュレーショントレーニングについて
本山 絵美(主任)	森之宮病院 リハビリテーション部(OT)	急性期病棟におけるADL低下防止の取り組みについて
森口 隆史(主任)	森之宮病院 リハビリテーション部(ST)	ST科医療機器・危険物の管理(紛失防止)方法について
鈴木 美絵子	森之宮病院 診療技術部(薬剤師)	点滴混注業務における薬剤師の感染対策意識調査
北川 知佳	森之宮病院 診療技術部(管理栄養士)	管理栄養士と言語聴覚士のスムーズな連携への取り組み
塩塚 洋子	森之宮病院 診療技術部(管理栄養士)	NST活動普及に向けての取り組み
長谷川 允	森之宮病院 診療技術部(診療放射線技師)	紹介検査の流れと診療放射線技師問診時の新たな試み
中井 三憲	森之宮病院 診療技術部(臨床工学技士)	当院における臨床工学技士が携わる業務について
山内 綾子	森之宮病院 歯科診療部(歯科技工士)	口腔癌に対する放射線治療用マウスピースの作成
周藤 江里子	森之宮病院 診療部(MSW)	退院支援に関する一考察 ～居宅系施設への退院支援～
橋之口 恵美(主任)	森之宮病院 診療部(事務)	退院時要約代行作成業務における診療報酬制度への貢献
下里 忠光(主任)	森之宮病院 事務部(事務)	課題解決能力強化プロジェクト 法人内トレーナーとしての取り組み
江本 幸代(主任)	ボバース記念病院 看護部(看護師)	手指衛生のタイミングをオムツ交換の場面で指導して
山中 由美	ボバース記念病院 看護部(看護師)	小腸ストーマ保有者のストーマケアに難渋した一例 ～施設看護師とABC-D-Stomaの使用を試みて～
尾野 清子	ボバース記念病院 看護部(准看護師)	外来看護師の書類業務における一考察
湯川 智子(主任)	ボバース記念病院 看護部(看護師)	回復期リハビリ病棟の質の向上を目指して ～入院時訪問指導等を導入して～
竹中 幸治(主任)	ボバース記念病院 リハビリテーション部(PT)	訪問看護ステーションにおけるリハビリテーション終了者についての検討
鳥瀬 義知(主任)	ボバース記念病院 リハビリテーション部(PT)	脳性まひ児に対する短期集中リハビリテーション入院
藤田 良樹(主任)	ボバース記念病院 リハビリテーション部(PT)	地域に向けた健康への取り組み ～歴史と展望～
末宗 梓(主任)	ボバース記念病院 リハビリテーション部(OT)	リハビリテーション部の感染防止への取り組みと成果
真辺 祐佳	ボバース記念病院 歯科診療部(歯科衛生士)	当院における全身麻酔下歯科治療についての実態調査
吉田 香愛	森之宮クリニック 診療技術部(看護師)	確実な放射性薬剤投与を目指して ～血管穿刺部位別の保温用具作成～
池田 綾野	森之宮クリニック 診療技術部(診療放射線技師)	性能・特徴の異なるPET/CT 3機種の運用
石田 耕太	森之宮クリニック 診療技術部(診療放射線技師)	職員の被ばく実態調査
長富 友見	森之宮クリニック 企画広報部(事務)	フロントの対応事例 ～クレームをおこさないための工夫～
福本 和宏	帝国ホテルクリニック 検診技術部(診療放射線技師)	内臓脂肪面積に対する生活習慣と臨床検査値の検討
田畑 まどか	帝国ホテルクリニック 検診技術部(看護師)	高尿酸値の受診者の生活習慣改善に対する意識調査
島田 恭子(科長)	帝国ホテルクリニック 検診技術部(臨床検査技師)	当施設における頸動脈内膜中膜複合体厚と動脈硬化リスクファクターの検討
梶谷 麻里子	大道クリニック 人工透析科(看護師)	パスキュラーアクセスの感染対策～手指消毒と个人防护具の着脱実施率向上に向けた取り組み～
宮垣 義明(主任)	大道クリニック 人工透析科(臨床工学技士)	GMP省令バリデーション基準を参考にした透析液清浄化への取り組み
山下 春子	グリーンライフ ボランティア(エステ)	高齢者施設でのエステボランティアを通して思うこと
小倉 彩子	グリーンライフ 療養サービス部(OT)	認知症高齢者に対するリハビリテーションの再検討
木下 恵里	グリーンライフ 療養サービス部(介護福祉士)	個々に応じた排泄ケアを通じて
辻中 貴博	グリーンライフ 療養サービス部(介護福祉士)	考えよう!ターミナルケア
瀧口 晃史(科長)	グリーンライフ 療養サービス部(看護師)	「認知症ケアを正しく知る」大道会全体の取り組みとなった5年間の軌跡
竹島 祐代(事業所長)	在宅事業部 訪問看護ステーション東成おおみち(看護師)	その看取り、在宅では無理だと思いませんか?
永川 祐子(センター長)	在宅事業部 ケアプランセンター城東おおみち(ケアマネ)	支援困難の意識調査 ～所内事例検討から見えたもの～
片山 治子(センター長)	在宅事業部 ケアプランセンター東成おおみち(ケアマネ)	終了ケースの振り返りを通してケアマネジャーが学んだこと ～在宅から入所となった2事例より～
高間 俊輔(主任)	本部 管理部(事務)	課題解決能力強化プロジェクト 事務局の取り組み

法人全体

## 昇進者研修を開催しました

平成27年9月30日、大道クリニックで管理職に必須のヘルスケア分野に関する知識の理解を深める為、平成26年10月・平成27年4月に昇進した新主任職17名を対象とした昇進者研修を実施しました。研修を受講した新主任職の受講報告の一部をご紹介します。



森之宮病院  
看護部7階西病棟  
主任  
中島 ゆかり

半数以上の病院が赤字経営に  
なる等、医療・介護の現状は厳  
しさを増しています。診療報酬  
削減に加え、利用者が病院を選  
択する時代となり、経営には変  
化が必要です。2025年問題  
も見据え、他の施設、他業種か  
らも学んで適時的確な決定を  
し、改革していかねばなら  
ません。キーワードは、「地域包  
括ケア」「病院の機能分化」「連携  
と強化、在宅医療の充実」等。私  
も管理職としての意識を持って  
行動していきたいと思えます。  
「現状維持」は「後退」を意  
味します。選ばれる病院であり  
続けられるよう、「在宅・社会  
復帰への支援」「リハビリ看護

の質向上」「チームアプローチ  
の強化」等、組織のビジョンを  
良く理解し、実行していきたい  
と思っています。



森之宮病院診療技  
術部栄養サービスク  
主任  
高間 正恵

今回の研修を受け、成功し  
た組織の共通項は、他から謙虚  
に学ぶ、自己満足しない、適時  
的確な意思決定、改革に多少の  
摩擦は恐れない、であると学び  
ました。医療の姿について先進  
国との比較や日本の利点・欠点  
を知った事も非常に興味深く、  
情報収集の必要性を感じていま  
す。管理職に求められる役割は  
多面的、複眼的な見方です。今  
後は収支の意識も高め、データ  
等を使用し取り組める可能性を  
検討していきたいと考えまし  
た。また、自科において医療の  
質を高めるには技術的要素・ア  
メニティ要素であると考え、今  
後も食事内容の検討を委託業者  
と協力して行い、利用者に選択  
される病院、良い病院になれる  
よう取り組んでいきたいと思  
います。

森之宮病院  
ボバース  
記念病院

## 森之宮病院

## クリスマスイベントを 開催しました

森之宮病院1階のこもれび  
広場にて入院患者さん向けの  
クリスマスコンサートを開催  
しました。5年前まで当病院の  
理学療法士として勤務されて  
いた林康一郎氏によるバイオ



元職員のエリヒロ林氏によるバイオリン演奏

リン演奏です。「ウィンター  
ワンダーランド」から始まり、「ホ  
ワイトクリスマス」や「ジング  
ルベル」等のクリスマスソング  
をバイオリンが奏でると、会場  
は一気にクリスマスの雰囲気  
に包まれました。「サンタが街  
にやってくる」が始まると、曲  
に合わせて手拍子や鈴の音色  
が響き渡り、患者さんの笑顔が  
溢れました。

(森之宮病院レクリエーション  
委員会)



## ボバース記念病院

ボバース記念病院でクリ  
スマスを開催し、都島生涯セ  
ンターの方々に大正琴・社交  
ダンス・カラオケ・ミニコン  
トを披露して頂きました。大  
正琴の演奏に合わせての社交  
ダンスや患者さん、スタッフ  
皆での「きよしこの夜」の合唱  
もあり、会場はクリスマスの  
雰囲気に包まれました。  
(ボバース記念病院事務部フ  
ロントサービス課 難波陽子)



カラオケでは手拍子したり、リズムを取ったり、ミニコントでは患者さん達も楽しそう  
で笑顔が溢れていました

森之宮病院

## 循環器内科ライブが開催されました

10月17日、森之宮病院ウッ  
ドホールにてLEVELE2  
(Latest Evidence Versus Experi-  
ence based  
endovascular  
conference)  
が開催されま  
した。  
今年で2回  
目となる本会



開催風景

はEvidenceとExperienceを意  
識し、最新の血管内治療の情報  
を提供する場となります。当院  
のカテーテル室より6症例のラ  
イブ中継を行い、全症例成功で  
終わることができました。  
全国より末梢血管カテーテル  
治療に携わる医師及びコメディ  
カルスタッフが参加し、ライブ  
中は治療技術、治療手段につ

て熱いデイ  
スカッション  
が練り広  
げられ、最良の治療を行うこ  
とを目的とした研究会となり  
ました。ご協力頂きましたス  
タッフの皆様、ありがとうございました。  
(森之宮病院画像診断部臨床  
工学科 中田文)



LIVE中継

ベトナムから理学療法士が見学訪問されました

平成27年9月9日、ボバース記念病院にベトナムから女性の理学療法士のMrs.Cao Thi Kieu Chinh (カオ・ティ・キウ・チンさん)が治療見学に訪問されました。

カオさんは、薬剤の影響を受け誕生した世界的に有名なドクさんがあるツーゾー病院(ホーチミン市)に所属しています。今回は富山県立高志

学園で2カ月程、小児の治療の勉強の為に来日し、当院にも治療見学に訪問されました。当院では小児(脳性麻痺患者)を中心に理学療法以外にも作業療法、言語療法も見学されました。また、治療見学以外にもリハビリ病院としての地域のつながりについても学んでいました。言葉が通じづらい部分もありましたが、



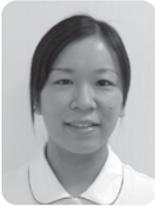
理学療法士のカオ・ティ・キウ・チンさん

積極的に意見交換をするのができ、私達にとっても非常に良い刺激となりました。(ボバース記念病院リハビリテーション部理学療法科 星野友昭)

頑張っている職員に注目!

ただ今、奮闘中

#53



患者さん・ご家族と共に考える、  
脳卒中再発予防

森之宮病院看護部  
4階西病棟  
坂本 理恵 主任



再発予防について患者さん・ご家族と一緒に考えていきます

現在、森之宮病院では、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が3名活動しています。認定看護師の役割の一つとして、脳卒中患者さんの発症直後から在宅まで、その人らしい生活の再構築に向けて、質の高い看護実践を行うことがあります。脳卒中の発症は突然であり、患者さん・ご家族の生活に大きな変化をもたらします。入院時から、退院後の生活について患者さん・ご家族と共にお話しし、考えていきたいと思っています。

脳卒中は、高血圧、肥満症、脂質異常、糖尿病等の生活習慣病により発症し、10人に1人が1年以内に再発するデータもあり、再発率の高い疾患です。患者さん・ご家族が退院後も楽しい生活を送られるように、再発指導に努めています。今年度より、毎月第3土曜日に患者さん・ご家族対象に脳梗塞・脳出血の再発予防の指導を行っています。脳卒中の予防には生活習慣の是正が必要となり、飲酒・喫煙・食事・血圧管理・内服管理の項目を皆さんにお伝えし、一緒に再発予防について考える時間を作っています。再発予防に向けて、生活スタイルへの助言、将来にわたり継続した管理を伝え支援していきたいと考えています。

今後は、スタッフや地域の方へ脳卒中について学んで頂く機会も設けていきたいと思っています。

私は森之宮病院の回復期リハビリテーション病棟で勤務しており、主に脳卒中の患者さんを担当させて頂いています。脳卒中というと脳の血管に急なトラブルがおきる病気の総称で、主に血管が詰まる脳梗塞と血管が破れる脳出血が含まれます。しかし単に脳卒中といっても、脳の仕組みは非常に複雑でこの部分にトラブルがおきるかによって、「手足が動きづらい」「しゃべりづらい」「バランスがとれない」「左側が見えづらい」等、症状は実に様々です。

Medical Doctor's Voice #65

「脳卒中のリハビリ」



森之宮病院神経内科  
角田 渓太

もう一つ、日々の診療で必ず考える「様々なこと」といえば、リハビリを受けられる方がどのような方なのかということ。回復期リハビリテーション病棟は病気をこされた方が点滴や手術等の集中的な治療を急性期病院で受けられた後に、生活の場へ戻ることをめざしてリハビリをする所ですので、その方が元々どのような生活をされて

一口に「脳卒中のリハビリ」といっても、誰が、どのような脳卒中をおこされたかによって、それぞれの患者さんは千差万別で同じパターンの方というのはいないのだな、と日々感じていきます。

ているのかということは、リハビリの目標を考える上で非常に重要です。お一人で暮らされているのか、ご家族と一緒に暮らされているのか、どのような職業や趣味の活動をされている方なのか等、その方の生活に関することを当院に入院された日にできる限り教えて頂けるように努めています。

## ■ 大道会の各病院・施設のホームページをリニューアルしました

昨年の7月末の大道会の法人総合ホームページと看護師採用ホームページのリニューアルに引き続いて、昨年12月21日に病院・施設(森之宮病院・ボバース記念病院・森之宮クリニック・帝国ホテルクリニック・大道クリニック・グリーンライフ・在宅事業部・サンローズオオサカ)のホームページをリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、患者さんやご利用者・ご家族の方々にとって見やすいホームページをめざして、スマートフォンでも閲覧がしやすいデザインを採用し、何度もクリックしなくても見たいページにた

どりつけるようなページ配置の工夫を行いました。また、大道会の全ての介護サービス情報を掲載した大道会介護サービス総合サイトを開設し、利用したい介護サービスから、そのサービスが利用できる施設を探すことができるようにしました。その他、各病院・施設が力を入れている医療・福祉や取り組み等の情報もボリュームアップしています。なお、『Live30』もホームページからダウンロードできるようにしました。

リニューアルした新ホームページをぜひご覧下さい。



森之宮病院ホームページ



介護サービス総合サイト



帝国ホテルクリニックホームページ

## ■ 大阪市城東区・UR都市機構と森之宮地域のまちづくり協定を締結しました



まちづくり協定の締結後に握手するUR都市機構西日本支社ウェルフェア推進チーム藤本チームリーダー(左)、大阪市城東区奥野区長(中)、社会医療法人大道会大道理事長(右)

社会医療法人大道会森之宮病院は、平成27年11月10日に大阪市城東区・UR都市機構と「森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念を踏まえたまちづくり協定」を締結しました。締結記念イベントでは、大道会の管理栄養士や理学療法士から健康に長生きするための食生活や運動について紹介があったほか、今後、計画されている森之宮地域での高齢者の孤独死を防ぐためのネットワーク作りや団地の空き室を利用したモデルルーム設置等の取り組みが発表されました。

イベントで大道理事長は、「2006

年の森之宮病院開設をきっかけに大道会が根付くことになった森之宮地域において、今後、特に高齢者の孤独死を防ぐために、社会医療法人として医療・福祉へのさらなる貢献を行っていききたい」と抱負を述べました。

### ご寄付を頂きました

新井博文様(大阪市東成区)よりご寄付を頂きました。ありがとうございます。有意義に活用させていただきます。

## Live30【ライブ・サーティ】

2016年1-2月号 vol.214 (隔月発行)

編集発行人/社会医療法人大道会

〒536-0023 大阪市城東区東中浜 1-5-1

TEL.06(6962)9621 FAX.06(6963)2233

### ● 本法人の経営理念

1. 社会から信頼される病院・施設づくり
2. 安定した経営基盤の確立
3. 職員の福祉向上と人材育成

### ● 職員行動モットー

- 親切丁寧に(受診者・お客様・ご利用者) 待たさない/よく説明する/連携する

### 編集後記

1年の内、最も寒い季節が来ましたが、寒いのは苦手、という方も多いですが、日本には四季折々の豊かな景色や美味しい食文化があり、この時期ならではの楽しみも多いのではないのでしょうか。

私は趣味と健康を兼ねてロードバイクという自転車に乗っています。車だとなかなか通る道が少ないですが、自転車だとゆっくり、季節の変化を肌で感じながら楽しめます。昨年は琵琶湖一周をして改めてその大きさを実感しました。今年は淡路島一周やしまなみ海道横断を計画中です。忙しい毎日ですが、ちょっとしたことにも喜び、楽しめる心を持ち続けていきたいと思えます。(サンローズオオサカ介護サービス課主任 松本正則)

### ■ 大道会

社会医療法人大道会本部

TEL 06(6962)9621

森之宮病院

TEL 06(6969)0111

ボバース記念病院

TEL 06(6962)3131

森之宮クリニック(PET画像診断センター)

TEL 06(6981)9600

帝国ホテルクリニック(人間ドック)

TEL 06(6881)4000

大道クリニック(人工透析)

TEL 06(6961)5151

介護老人保健施設グリーンライフ

TEL 06(6965)0666

訪問看護ステーションおおみち

TEL 06(6967)1123

訪問看護ステーション東成おおみち

TEL 06(6977)8680

ケアプランセンター城東おおみち

TEL 06(6964)5285

ケアプランセンター東成おおみち

TEL 06(4259)5311

レンタルケアおおみち

TEL 06(6967)6250

特別養護老人ホームサンローズオオサカ

TEL 06(6974)7388

東成山手学園(保育園)

TEL 06(6974)7377

### ● 大道会ホームページ

<http://www.omichikai.or.jp>

大道会

